

自分との対話を

校長 水戸 巖

今年の漢字に「金」が選ばれました。「密」「災」とマイナスのイメージの漢字が続いた中、「金メダル」「金字塔」などプラスの意味合いが強い漢字が選ばれ、コロナ禍にあって明るい話題も多かった1年だったと感じています。そして、西中の漢字は？ 今年、明和会が掲げてくれた「輝」でしょうか。多くの輝く場面を見ることができました。

さて、冬休みに入ります。終業式では、1年の振り返りとともに、『自分と対話する機会にしよう』と話をし、次の2つの話題を提供しました。

話題1：昨年、コロナ禍の中、大学に通うことができない学生たちが詠んだ川柳が話題となりました。中でも、キャリアデザインの授業担当者の大学の先生が注目したのは、「コロナ禍で 知らぬ自分が 見えてきた」「向き合った コロナの時間 無駄じゃない」「自粛中 やりたいことが 見つかった」などの句です。「自分を見つめ直せたという句がいくつもあった。自分や将来について考えて、この経験をプラスに生かしてくれるのではないか」と学生たちに期待しているとのことでした。

「キャリアデザイン」とは、将来のなりたい姿やありたい自分を実現するために、自分の職業人生を主体的に設計し、実現していくことをいいます。この冬休み、ぜひ、このことについて、じっくり考える時間を大切にしてほしいです。

話題2：かつて読んだ本です。いずれも、中高生が自分との対話をしながら、成長していく物語です。

●『希望の地図』（重松清・著）：

不登校の中学生が主人公。ライターとともに3・11の被災地の取材をとおして、復興に立ち向かう姿をみたり、絶望で生きる意味を見いだせなくなっている人の姿に触れたりしながら、自分を見つめていく話です。

●『ホケツ！』（小野寺史宣・著）：

幼い頃に父親と離別、母親と死別し、叔母のもとで生活している高校生が主人公。部活動のサッカーでは、常に補欠。そんな環境の中、部活動の中での居場所をみつけたり、叔母・再会した実父とのやりとりの中、自分を見つめたりしていく話です。

年末年始の大きな節目を家族の一員として過ごし、日本の風習や伝統文化を味わいながら、新年からの学校生活への備えをお願いいたします。感染予防にも配慮していただき、皆様、どうぞよい年末年始をお過ごしください。

期末保護者会ありがとうございました

お忙しい中、そしてお足下の悪い中、期末保護者会にお越しいただきありがとうございました。お子さんの良さや保護者の方が感じておられる心配な点などを共有し、学校と家庭が一層連携するよい機会となったと感じています。今後とも手を携え、子どもたちの成長を支えていけるようよろしくをお願いいたします。

西中生の活躍！！～受賞の記録～

- ◎いきいきわくわく科学賞 優秀賞
- ◎新潟県土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール
中学生絵画の部 最優秀賞
- ◎環境保全ポスターコンクール 優秀賞
- ◎見附市文芸祭 俳句 文芸祭賞
// 短歌 //
- ◎にいがたデジコングランプリ 入選
//



「税についての作文」
税務関係の担当者の方から校長室で賞状伝達をいただきました。

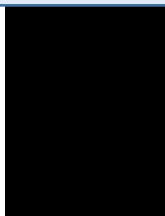
- ◎税についての作文
関東信越税理士会三条支部長賞
- ◎新潟県アンサンブルコンテスト 銀賞 管楽打楽器8重奏
金賞 管楽打楽器8重奏



アンサンブルコンテストに2組出場し、1組が金賞かつ西関東大会への代表選考会への出場権を獲得しました。西関東開会への出場権は逃したものの素敵な演奏を奏でてくれました。



- ◎中越教育美術展 会長賞
- // 新潟日報賞
- // 特選
- // 特選
- // 特選



※中越教育美術展はこの他にも多くの入賞がありました。また、漢検・英検で多数の生徒が合格しました。生徒に紹介し、代表生徒に合格証の伝達を行いました。



白熱！ なんクラ第2弾

「なんでもクラスマッチ」の第二弾として、ドッジボール大会を実施しました。チームの中に「王様」を設け、王様を倒すと即終了の特別ルール。ゲームは常に大声援に包まれ、おおいに盛り上がりました。年末のよいひとときとなりました。

1月の予定

- 6日(木) 3年生確認テスト
- 7日(金) 3学期始業式
- 14日(金) 英語検定
- 17日(月) 明和会朝会
- 20日(木) 新入生保護者説明会
- 25日(火) 3年生進学保護者会
(～27日)
- 31日(月) 明和会総会



子どもたちの活動の様子をホームページ(西中ブログ)でお知らせしています。ご覧ください。